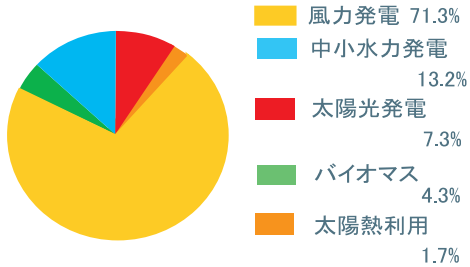


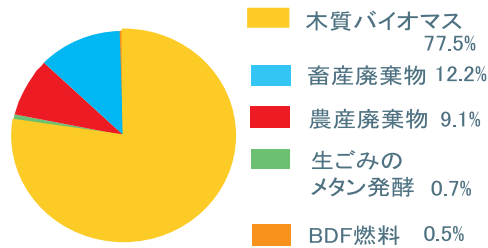
設楽町で有望な新エネルギーとは？

設楽町では、風力エネルギー・中小水力エネルギーの量が多く、有望な新エネルギーであると言えます。また、バイオマスエネルギーの中では特に木質バイオマスエネルギーの量が多く、利用が期待できるエネルギーであることがわかりました。

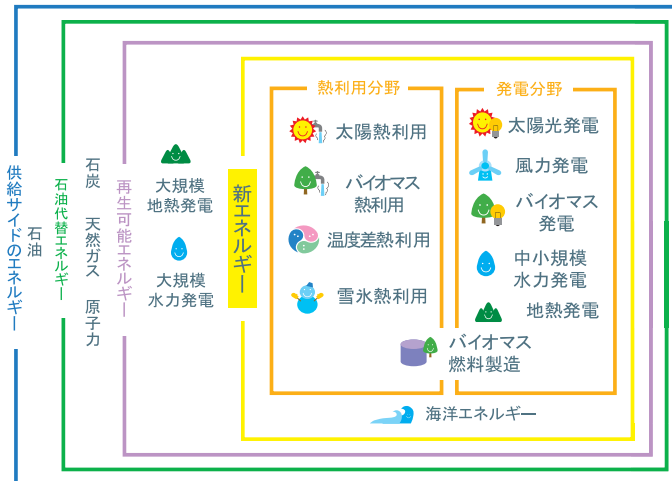
設楽町で利用が期待できる新エネルギー



設楽町で利用が期待できるバイオマス



新エネルギーの種類



バイオマス

バイオマスとは、木材・生ごみ・糞尿・食用油等といった生物資源の総称です。これらに由来するエネルギーをバイオマスエネルギーといいます。発電や熱利用にとどまらず自動車の燃料や家庭用ガスなど幅広く利用することが可能です。

中小水力発電

大型の水力発電の適地は、国内ではほとんど開発されつくしたものの、中小規模ならば大いに余地があると考えられています。

太陽光/太陽熱

地球に降り注ぐ太陽光は1m2あたり1kWに相当するエネルギーを持っています。この太陽エネルギーの代表的な利用方法として、太陽光発電と太陽熱利用の2つがあります。

設楽町 地域新エネルギービジョン -概要版-



まちづくりのキーワードは「森林・水」

なぜ 設楽町で新エネルギー??

地球温暖化やエネルギー問題は、

私たち一人ひとりが考え、行動しなくてはならない問題です。

設楽町の森林や川などの自然資源を化石燃料に代わるエネルギーとして活用し、

地域活性化にもつながる取り組みを町全体で進めていきます。

発行 愛知県 設楽町

〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字居立2

TEL 0536-62-0511 FAX 0536-62-1675

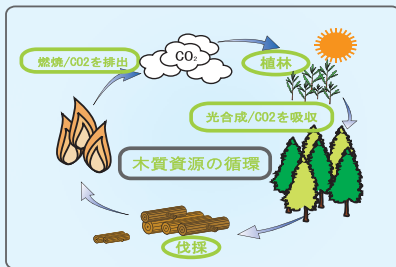
HP <http://www.town.shitara.lg.jp/>

新エネルギー導入プロジェクト

設楽町で利用が期待できる新エネルギーを利用するプロジェクトを今後検討していきます。特に、豊富な森林資源の活用を重点項目として、林業活性化を目指した検討を行います。

山の資源活用プロジェクト

◆木質資源の活用で循環型社会を目指します



森林資源は再生可能エネルギーです。二酸化炭素を吸収した木を材や燃料として利用し、また植林することで二酸化炭素を吸収しながら育つというサイクルを繰り返すことができます。設楽町には豊富な森林資源がありますが、今はあまり使われていない状況です。地域の資源を活用しながら、地域で生産するエネルギーで安心な暮らしができる、循環型のまちづくりを目指します。

◆エネルギー利用で林業活性化を目指します



林業活性化のためには、木材を利用することが必要です。

林地残材

エネルギー利用

薪として利用

林道沿いの林地残材を利用します。材の収集・利用のシステム確立を目指します。



薪



薪ストーブ

ペレットとして利用

設楽町の木質資源を多く活用するため、ペレット化利用を進めます。ペレットの利用を促進するため、公共施設へのペレットボイラー導入や、家庭へのペレットストーブ導入のための補助制度整備や情報提供を行います。



ペレット



ペレットボイラー

木炭として利用

炭焼きが盛んな地域特性を活かし、町全体で木炭を活用します。



木炭利用

新エネルギー導入プロジェクト



役場や清嶺保育園、名倉保育園など公共施設の改築に併せ、太陽光発電パネルや薪ストーブ、ペレットボイラーの導入を検討します。まずは、公共施設への率先導入を行います。

中小水力発電プロジェクト



町内の川を利用し、中小水力発電を行います。津具総合支所を中心とした周辺の公共施設の電源としての利用を検討します。

設楽ダム周辺開発プロジェクト



ダム建設に伴い、ダム周辺施設の整備を行います。その際、風力発電や太陽光発電パネルの設置、ダムの水を利用した水力発電などの導入を検討していきます。

基本理念

山の恵みを活かす町 したら

基本方針

- 地域の最大テーマである木質資源の有効活用による地域活性化
- 設楽ダム建設を見据えた新エネルギー導入計画の検討
- 豊富な水資源を活かしたまちづくり
- 循環型社会の構築を目指した新エネルギー利用